

松本、富谷、徳田組が2連覇

日本ペタンク選手権大会

第25回日本ペタンク選手権大会が10月23日・24日の両日、埼玉県深谷市で開催され、男子の岡山県Aチームの松本稔選手(清音三因)と富谷弘樹選手(清音上中島)、徳田真行選手(倉敷市)組が優勝。昨年の総社大会に続き2連覇しました。

岡山県Aチームは、予選リーグでは苦戦を強いられ2勝1敗の2位で通過。決勝トーナメントは危なげなく順調に勝ち進み、決勝では高知県Aに13-5と快勝してV2を決めました。

チームのまとめ役の松本選手は、「相手の球をはじく、ポイントを取りにいく球を投げるなど、それぞれが役割を果たし、見事にかみあった」と大会を振り返りました。



ナイスショット

未来のプロゴルファーを目指して

PGAジュニアゴルファー育成プロジェクトin総社

日本プロゴルフ協会(PGA)主催の「PGAジュニアゴルファー育成プロジェクトin総社」が、10月16日から11月14日までの期間中、総社北公園陸上競技場や鬼ノ城ゴルフ倶楽部を会場に開催されました。

市内の小学3年から6年までの約60人が参加。全3日間の教室で、プロゴルファーからルールやマナー、打ち方を学びました。

初回は、テニスボール大のボールを使ったスナッグゴルフで、スイングの基本を学習。2回目以降は、本物のゴルフボールを使ってゴルフ場デビュー。ショットやアプローチの基礎を学び、実際にラウンドもしました。

子どもたちはこの体験を通して、ゴルフの楽しさや醍醐味を味わっていました。



優勝トロフィーを掲げる3人。左から、富谷弘樹さん、松本稔さん、徳田真行さん

ミニフォト

100歳 おめでとうございます



祝福を受ける石井さん

石井竹野さん(久米)が10月15日に満100歳の誕生日を迎えられ18日、県と市から記念品が贈られました。農業や市議会議員だった夫のサポートをしてきた石井さん。長寿の秘訣は、よく体を動かして働いてきたことだそうです。

100歳 おめでとうございます



祝福を受け笑顔の小林さん

小林ミツさん(種井)が10月23日、100歳の誕生日を迎えられ、県と市から記念品が贈られました。今でもよく食べ、よく歩いている小林さん。長寿の秘訣は「昔からお農業の手伝いで、よく体を動かしてきたこと」と教えてくれました。

読書に卒業はない



読み聞かせを聞く子どもたち

読み聞かせマイスターの中川良孝さんによる絵本の読み聞かせが10月29日、市図書館で開かれました。総社幼稚園児ら約80人が参加。絵本を読み聞かせながら、「読書に卒業はない」など、参加者に読書の大切さを語り掛けました。

「わん太」と「ちゅう太」をよろしく

消防の着ぐるみ

住宅用火災警報器の設置や火災予防などの啓発で活躍する犬とネズミの着ぐるみの名前が、一般公募で「わん太」と「ちゅう太」に決まりました。

命名したのは、わん太が前田優香さん(井尻野幼稚園)、ちゅう太が前田優香さんと窪津真緒さん(2歳)、河野都宮志さん(総社小学校6年)の3人。わん太は「災害現場へ1番に」のワンから、ちゅう太には「火の元注意を」のちゅうの意味が込められています。

命名式は11月9日、消防本部で行われ、命名者となった子どもたちには賞状と記念品が贈呈されました。

名前は、今年9月に開催した消防写生大会で募集。応募総数は323点。



「わん太」の犬と「ちゅう太」のネズミの着ぐるみと記念撮影する命名者の子どもたち



岡山県測量設計業協会と中国地質調査業協会岡山県支部との調印式



サントリーフーズ株式会社との調印式

状況把握と飲料水の確保

災害時の応援協定

市は11月1日、社団法人岡山県測量設計業協会と中国地質調査業協会岡山県支部の2団体と「災害時における応急対策業務に関する協定」を市役所で締結しました。民家・公共施設の損壊調査、応急措置の助言をするなどの内容で、災害時の被災状況の早急な把握につながるものです。

続けて同4日には、サントリーフーズ株式会社と「災害発生時における飲料供給に関する協定」を締結。災害時に、飲料水のペットボトルなどを優先的に供給する内容です。



市内各所を一斉に清掃



岡山自動車道の側道を清掃

総社市シルバー人材センターは10月23日、日ごろの支援へのお礼にと総社宮や備中国分寺など10か所で市内一斉ボランティア清掃を実施しました。会員約200人が参加。一生懸命、草をとったりごみを拾ったりしていました。

日ごろの練習の成果を競う



火点に向け放水

市消防団の実戦放水訓練が10月24日、消防庁舎グラウンドで行われました。市内の18分団から消防団員約320人が参加。模擬の火元に水を放水する訓練に各分団4人1組で挑み、確かさや迅速さを競い合いました。

いっぱい掘ったよ



きびみどりを掘り出す園児

山田と新本の両幼稚園児21人が11月2日、新本の畑でいも掘りを体験しました。今年5月に同幼稚園児が植えたものの収穫です。鳴門金時や市の特産品であるきびみどりなどを、園児は保護者らといっしょに楽しく掘っていました。